

| | | | | | | | |
|---------|------|------------|-----|------|---------------------|-----|---|
| 学年 | 高校3年 | 教科 | 数学科 | 科目 | 数学C | 単位数 | 3 |
| 教科書名 | | 数学C (数研出版) | | 副教材名 | サクシード数学III+C (数研出版) | | |
| コース・クラス | | 選抜・N進理系 | | | | | |

I. 目標

ベクトル，平面上の曲線について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

II. 授業のねらい

2章 空間のベクトル … 座標空間について理解するとともに，空間ベクトルについて理解させ，空間図形の考察にそれらを活用できるようにする。

4章 式と曲線 … 放物線，楕円，双曲線が2次式で表されること及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解させる。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心に，授業を展開する。また，日本大学基礎学力到達度テストに向けて出題されている問題を中心に扱う。
2. 单元ごとに小テスト実施し，定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書，授業用ノート，問題集，問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後，間違えた問題を確認し，復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

教科書と問題集の内容を中心に，幅広く出題する。また，模擬試験レベルの問題も出題する。

- 1学期 中間試験 : 平面ベクトル・空間ベクトル
1学期 期末試験 : 平面ベクトル・空間ベクトル・式と曲線
2学期 期末試験 : 平面ベクトル・空間ベクトル・式と曲線

VI. 評価の方法

定期試験，小テスト，提出物の提出状況と内容，授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

| 学期 | 月 | 単元・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 | |
|-----|----|---------------------------------------|---------------------|---|----------|
| 一学期 | 4 | 2章 空間のベクトル | 定期試験 小テスト 提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線・平面の位置関係が理解できる。 ・空間の座標を定め，空間の点を座標を用いて表すことができる。 ・空間のベクトルと平面のベクトルは同じ性質が成り立つことが理解でき，ベクトルを用いて空間の様々な問題が解ける。 | |
| | 5 | | | | |
| | 6 | 4章 式と曲線 | | | |
| | 7 | 1節 2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標 | | | |
| 二学期 | 9 | 基礎学力対策 平面上のベクトル 空間のベクトル 式と曲線 | 定期試験 小テスト 提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・放物線，楕円，双曲線の定義とその方程式の標準形について理解し，放物線に関する用語の意味を理解する。 ・一般の曲線を平行移動して得られる曲線の方程式を求めることができる。 ・2次曲線と直線の位置関係や接線について理解する。 | |
| | 10 | | | | 数学ⅡBの総復習 |
| | 11 | | | | |
| | 12 | | | | |

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。